

2019

冬

宮崎市国際交流協会

NEWSLETTER



「韓国の友達を作ろう！2019」での浴衣試着体験。団体会員の「ひめの会」会長へお礼を渡す報恩郡中学生

《目次》

在住外国人の方々と楽しむ日本文化	・・・ 2
韓国・報恩郡中学生との交流	・・・ 3
西インドカレー料理教室	・・・ 3
9・10・11月開催イベント	・・・ 4
今後のお知らせ	・・・ 4
編集後記	・・・ 4

編集・発行

宮崎市国際交流協会

〒880-8505

宮崎市橘通西1丁目1番1号

宮崎市役所本庁1階

TEL 0985-21-1719

FAX 0985-21-1733

Facebook

<https://www.facebook.com/miyazaki.mcia>



宮崎市国際交流協会の
Facebookはこちら⇒





日本の伝統食を手作りで!! ～体験を通した異文化交流～

新企画として「育てたそばで料理を楽しもう」を実施しました。この企画は、Step1とStep2があり、種まき編とそば打ち体験編になっています。種まき編は宮崎県総合博物館見学と併せて9月21日(土)に実施しました。当日の集合時間は大変な雨でしたが、ほとんどの方が出席されました。事前に広瀬地区交流センターで、参加者の交流と種まきの手順説明を行いました。自己紹介では、中国やインド、ミャンマー出身の方から、それぞれの国のそばについての感想がありました。そばの発祥は中国というのが一般的ですが、インドではないかという説もあるようです。種まきの体験は皆さん初めてのようでした。薄日が差す天気になりましたが、残念ながら畑は雨の影響でぬかるんでいて、種まき体験は出来ませんでした。

その後は宮崎県総合博物館に移動し、宮崎県の自然や歴史などの展示を見学しました。翻訳機が貸し出されていて、日本語では説明しにくい内容も分かりやすくなっていました。

参加者は「種まきが出来なかったのは残念でしたが、いろんな国の方と交流が出来ました。宮崎県の自然や歴史も知ることができました。次回のそば打ち体験がとてものしみです」と話していました。次回Step2は、1月25日(土)に収穫したそばで、そば打ち体験を実施予定です。



①:そば畑にて

②③:広瀬地区交流センターでの交流会、事前説明会

④⑤⑥:宮崎県総合博物館見学



待ちに待った再会！ ～日韓をつなぐ友情へ

「韓国の友達を作ろう！2019」

韓国・報恩郡との交流事業で11月15日(金)から17日(日)まで報恩郡の中学生10名が宮崎市を訪問しました。宮崎に着いて真っ先に訪問した住吉中学校では、名刺交換や日本の伝統遊びを通して楽しい交流ができました。その後の市長表敬時に日本語で挨拶した報恩郡生徒代表は、とても緊張した様子でした。

合宿所の生目の杜遊古館では、報恩郡に派遣された市内中学生と久しぶりに再会し、ニュースポーツゲームや花火等を通して友情を深めました。翌日のホームビジットや浴衣試着体験は、日本ならではの皆が笑顔になれて楽しい思い出となりました。これらの経験を今後の人生に生かして欲しいと思いました。



住吉中での名刺交換



ニュースポーツゲーム



市長表敬



ホームビジット



日本文化体験

2019.11.16

スパイスが効いた本格的インドカレー！



10月5日(土)宮崎市青少年プラザにて、インド出身のナイクムルンマイさんを講師として迎え、西インドカレー料理教室を開催しました。

インド料理には欠かせない長粒で香芳なお米、バスマティライスを使用しました。ひと手間かけ、バター、コリアンダー、クミンと一緒に炒めてから炊き上げました。

カレーは、スパイスを加えると一気に香りが部屋中に広がり食欲をそそりました。グループ毎に好みの辛さに仕上げたので、他のグループのカレーを食べ比べる楽しさもありました。参加者からは、「知らない材料やスパイス、お米を食べることができてよかった」「講師の方がチャーミングでとても楽しかった」などの感想をいただきました。ナイクさんの明るい性格もあって、楽しい交流の場になりました。





9・10・11月
開催イベント

一番街イベントの国際交流コーナーに出展しました

「一番街50周年感謝祭」の国際交流コーナーに、佐土原町国際交流協会、清武町国際交流協会、宮崎県国際交流協会の皆さんと一緒に参加しました。例年はクリスマスに合わせて実施されるイベントですが、今年は50周年で9月7日(土)に開催されました。また、タンザニアやドイツの雑貨販売もあり国際色豊かな一番街となり、たくさんの皆さんが立ち寄られ講座等の問い合わせも頂きました。参加をお待ちしております。



防災セミナーを開催しました



10月26日(土)、宮崎県国際交流協会との共催で、「在住外国人向け防災セミナー」を開催しました。宮崎大学、宮崎情報ビジネス医療専門学校留学生など約100名が、吉村町にある宮崎東諸県広域防災センターに集まり、起震車や煙中避難を体験しました。また、防災アプリの説明や防災グッズの紹介ブースも設けられ、当協会は防災アプリブースを担当しました。ボランティア2名の方が、多言語対応の防災アプリ「Safety tips」のダウンロードや使用方法について説明しました。大災害に限らず、台風や地震などの情報収集にも活用して欲しいと思います。

119番通報対応訓練に参加しました

日本語の話せない海外の人による119番通報に対応するための訓練が、宮崎市消防局指令課であり、当協会から二名の国際交流員が参加しました。宮崎市域も在住外国人のかたが増える傾向にあり、実際の通報もあるようです。しかし、通訳につなぐまでに通報者が電話を切ってしまうこともあり、素早い対応が必要との事でした。実際に119番をかけるため、国際交流員も職員の皆さんも緊張しながらの訓練でした。スムーズな通報が出来るよう今後も協力していきたいと思ひます。



「みやざき健康ふくしまつり2019」に出展しました

11月3日(日)フローランテ宮崎にて開催され、当協会もブースを出展しました。秋晴れの下全体で1万人以上の来場があり、当協会にも多くの来場者にお越しいただき、用意していたお茶は午前中でなくなってしまいました。また、中国と韓国の玩具は子供たちに大人気で順番待ちが出来るほどでした。当協会の会員さんにもお立ち寄りいただき、ありがとうございました。



今後のお知らせ



- 1月25日(土) 在住外国人の方々と楽しむ日本文化～そば打ち体験編
 - 1月29日(水)、2月5・12・19・26日(水) 中国語ふれあいチャット
 - 2月5・12・19・26日(水)、3月4・11日(水) 韓国語教室初級編
 - 2月22日(土) 宮崎の農産物を使った世界の料理「韓国編」
- ※日程は変更になる場合がありますので、事前に協会にお問合せ下さい。

編集後記

中国最大のショッピングイベント「W11」の由来をご存知でしょうか。中国では独身者を「光棍(グアングン)」といい、「棍」は「1」と似ている棒のことです。1990年代の初めに、大学生たちが11月11日をシングルデーとして祝い始めました。これに目を付けた中国の大手ECサイトが、デートができない独身者に、この日はネットショッピングを楽しもうと呼びかけ、2009年11月11日にECセールを始めました。現在では中国最大のECイベントとなりました。(幸下)

12月に入ると寒さも増して一気にクリスマスの雰囲気になりました。主人の出身国であるオーストラリアは南半球のため夏にクリスマスを迎えます。クーラーのきいた店内での買い物中、耳に入ってくる音楽に「今時季クリスマスソング?」と思っては12月であることを思い出していました。シーフードやバーベキューを囲んで家族で過ごすクリスマスを懐かしく思いながらも、冬のクリスマスの方がしっくりくるなど、寒さが増す度に思います。(新田)

